



2月の青空の下、庭に

梅の花が咲いています



社長・常務の来阪

(大阪支店社員の反乱)

私がリコー教育機器に入社して初めて社長と常務に会います。それだけ大阪支店は支店長に任せられてきたとも言えます。社長は頭の禿げた60代の人で、常務は背が小さい人でやはり60に近い人でした。二人は暑い夏のある日に大阪支店にきました。私はこの人たちが社長と常務かと何の感動もなく見つめていました。大阪支店に各営業所所長と課長以上が集められ、社長の第一声が「君たちは、会社を裏切った支店長と同じ穴のムジナだ！」続いて常務が「その通り、これから誰が支店長と一緒に会社を裏切ったのかを吟味する」みんなはポカーンとしてな

んのことか分からずに聞いていました。

高松の所長が「常務、会社を裏切ったとはどういう意味でしょうか、私達には思い当たることがありませんが」と問いただして言いました。常務は「何でもいから君たちはこれから全員販売店に出向してもらいます」「一人ずつ各担当のお店に出向です」誰かが「それはどういうわけです」常務「訊は自分の胸に聞き給へ、出向は1年か2年だね」

私はこのやり取りを聞いていて何か重大なことが裏で起きている、常務は表向きにそれを言い出せないのだと思っていました。それにしても一年も二年もとは長過ぎますし、私達にはそうされることに

思い当たることがありません。所長たちはざわめいていました。何故、販売店に出向されなければならぬのか分からず仕舞で、常務や社長の言いなりになることなど出来ません。私はやおら立ち上がり常務と社長に言いました「私達を全員出向に出して後はどうされるつもりですか。今各販売店はマイティーチャーが売れなくなってきたいて経営的にも大変な時期を迎えています。私達がそれを支えているので販売店は潰れず持ち堪えているのです。私達がいなくなれば確実に80%のお店は潰れます。失礼ですが大阪支店の現状をよくご存じなくてどうしたことを仰っているのだと思えますが、如何でしょうか？」私は悲しくなってきました。今まで必至で支えてきた販売店のことを思うとこんな社長たちの思いつきだけで人事を

触られてはたまらんと、しかし真実は何なのか？なんで所長や課長を全員クビ同然なことをするのか。そうしたことをするにはそれ相当の事情があると思うのですが、私達には思い当たるフシはありませんでした。

常務は昔から大阪支店の米倉支店長とはライバル関係にあったようです。その支店長が何か不祥事を起こしたのでしよう、こごぞとばかり社長を焚き付けて支店長を追い落としかかっている私を感じていました。サラリーマン世界で始めて見る男同士のジェラシーです。醜いものでした。

社長が「二人一人個別で話をしよう」と言ったので、皆もそうしようと言うことになり最初が私でした。個室で社長と常務と3人で話をしました。「籠谷課長は京都の販売店にいつてもらうから」と言わ

れ、私はもうその時にはこの上役と一緒に仕事はできないなあと思っていました。こんな自分の立場だけを推し進めてくる人、大阪支店のことは何もわかっていない人にこれからついていくつもりはなくなっていましたのではつきりと「社長、私は今まで一生懸命仕事をしてきたつもりですので、今回の処置には納得できません、どうしても販売店に出向ということならこの会社をやめさせて頂きます。」と、うか、やめるかそれは残念だけれど仕方ないな」と社長。「今まで、支店長には大変お世話になりました」と言うとき常務が苦い顔をしていたのを横目で見てその場を去りました。

皆が「課長どうだった？」と聞くので「うん、やめてきたよ、もうこの会社には未練がないからね、ただ販売店さんが心配だけれど出向させられたら

それも出来ないしね。辞めた辞めた」と言って次の高松の所長に、次は君だよとバトンタッチして、自分の机を眺めて流石に寂しい気持ち湧いてきました。が、これしか進む道はない、私は以前から優秀な上司を求めて仕事をしてくる米倉支店長に会えて、思い切り仕事が出来楽しかったのでそれを無にしたくなかった。あんなに辞めたいと常務にはついていく気もないしここでついて行ってもいつかぶつかると思っていました。楽しかった3年間でしたが悔いは残りません、ただ支店長がどうなっているのが心配ですが、私のリコーでのサラリーマン生活は終わりました。

28歳の夏です。その後社長と面談した各所長、課長全員が退職して行くことを知り、大阪支店は終わったなあと思えました。彼らが居て初めて販売店さんは成り立っていたので、彼らがやめるとたちまちその下の営業マンも辞めるでしょうし、現に私の下に居た営業マンは全員辞めると私に行ってきた。

大阪支店の全従業員のなんと70%の人間が辞めていきました。これからどうするのか
籠谷 弘は.....

会員 趣味のホームページ

あじさい川柳
より

降って嬉し上がってもっと
嬉しい雨

ゆれたくって咲いているの
よ萩の花

さよなら勝ちはしたけれど
この深手

沈黙は害 身を蝕んでゆき
まする

貴方になら全部話すわエン
マ様

言えぬなら聞かずにおこ
う友ならば

吾子いなくパパ 自分が産
んだかのように

幸せ色が黄色なら わたし
真っ黄

目元だけが勝負になるねマ
スク顔
藤本花枝



歌声喫茶 2月・3月の予定

「西院」(第2、4木曜日)

2月 8日、22日

3月 14日、28日

楽々亭第39回 2月の予定

2月 7日(水)

西京区役所洛西支所第三会議室

午前10時~12時



ともしび通信

発行元：NPO 法人没イチの会・京都

住所：京都市西京区大枝北沓掛町一丁目5番地2-406

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●ともしび通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい思いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。